

科目名	経済学概論		D1-102	担当教員名	朴 一
単位数	1単位		選択	配当年次	1年次・第2セメスター(前半)
曜日・時限	集中講義			教室	オンライン授業
授業概要	この講義では、具体的な事例を取り上げ、経済学の基礎を教授する。日本経済や世界経済の現状と課題(地球環境問題、格差問題、移民問題、少子高齢化と年金問題、コロナ感染と医療問題など)について、生活者の視点から考える。講義は、教員によるプレゼンの後、テーマにそってグループディスカッションを実施する。				
到達目標	世界経済、日本経済の諸問題について、経済学の視点から考えるベーシックな能力を習得できる。				
回	日程	見出し	内 容		実践的な 授業方法
1	9/4	経済学とは	資本主義社会の仕組みのついて考える:マルクス経済学と近代経済学 [グループディスカッション]		○
2		資本主義社会の課題 (1)	地球環境問題について考える。 [グループディスカッション]		○
3		資本主義社会の課題 (2)	資本主義世界で深化する格差問題について考える。 [グループディスカッション]		○
4		資本主義社会の課題 (3)	アジアで進む少子高齢化について考える。 [グループディスカッション]		○
5	9/5	資本主義社会の課題 (4)	移民・外国人労働者の受け入れ問題について考える。 [グループディスカッション]		○
6		社会主義の挑戦	社会主義社会の仕組みについて考える。 [グループディスカッション]		○
7		社会主義国の苦悩	中華人民共和国と北朝鮮における社会主義計画経済の挫折 [グループディスカッション]		○
8		ワシントンコンセンサスと 北京コンセンサス	資本主義か、それとも社会主義か、新しい社会の仕組みについて考える。 [グループディスカッション]		○
キーワード		資本主義、社会主義、環境、格差、移民	履修条件		
教材等	教科書(要事前購入)	『経済学講義』飯田泰之 ちくま新書 2017年			
	参考書(任意購入)	『20世紀東アジアのポリティカルエコノミー』朴一 晃洋書房 2019年			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①平常授業評価(50%)、②レポート(50%)の総合点で評価する。 [①グループ・ディスカッションへの参加度(貢献度)及び毎回実施する講義課題への回答を評価。②講義内容を踏まえて、参考文献の内容をどれだけ深く理解しているかを評価。]			
授業時間外に必要な学修		教科書(『経済学講義』飯田泰之 ちくま新書)を事前に読み、経済学の基本的な理論を学習しておくことが望ましい。			
学生へのメッセージ					

※ 授業の日程については変更する場合があります。